

座間市立中学校給食全員喫食実施方針（素案）に関する意見公募（パブリックコメント）意見一覧

募集期間：令和7年11月19日（水）～令和7年12月18日（木）
提出者：67名、意見数：67件
※このほか、意見提出要件不備9件がありました。いただいた御意見は参考にさせていただきます。

No.	意見	市の考え
1	除去食対応できる給食施設を整備することで、食物アレルギーのある子どもたちも、他の子どもたちと一緒に安全で楽しい給食の時間を送れるように食育環境を整備して欲しいです。文部科学省策定の「学校給食における食物アレルギー対応指針」や他市の先行事例（近隣市では平塚市・横浜市・練馬区・国分寺市などがアレルゲン申告数が多い「鶏卵」「牛乳・乳製品」「えび」を中心とした、アレルギー除去食を安全に対応できる範囲で提供しています）を参考にした上で、座間市版の「学校管理下における食物アレルギー等対応の手引」を策定していただき、中学校の全員喫食でも学校給食で安全に提供ができる範囲での対応を行うことを基本とした上で、給食計画を推進して欲しいです。厚生労働省調査によるアレルギー疾患の患者数は、人口減少下でも増加傾向です。また、近年増加する外国籍児童生徒に伴い、宗教上の理由による除去食対応をしている市町村も増加しています。座間市でも除去食対応が可能な給食環境を整備することは「みんなで同じ給食を食べられる」食育を推進するという意味でも、教育上意義があると思います。	食物アレルギー対応等、近隣自治体における給食実施状況なども参考にしながら、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
2	小学校のような温かい昼食を提供してくれることを望みます	アンケート調査で、生徒・保護者の多くが温かい給食を強く希望していることが明らかになりましたので、小学校のような温かい給食を提供できるよう検討を進めてまいります。
3	来年度、座間中学校に入学予定の子どもがいます。 好き嫌いが多いため、中学校に入ってから、お弁当を自宅から持参できることを楽しみにしております。 現在の選択方式のままで続けていただけると、大変ありがたいです。	家庭での手作り弁当にも大切な側面がありますが、近年、家庭環境に関わらず生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整える必要性が高まっています。中学校における全員喫食は、すべての生徒が日々の学校生活に必要な栄養を確保できる環境を整えることを目的に検討しているものです。
4	小学校の給食室の設備と人員を増強し、近隣の小学校で作って食缶を中学校に配送、というのは現実的ではないのでしょうか？	親子方式（小学校の給食室の活用）は法令上の制約があり、導入には相応の時間を要し、現時点では対応が難しい状況です。

5	座間市の中学校給食の全員喫食についての検討を拝見し子どもたちの食に関わる問題として大変重要なことだと感じています。 ひとりの保護者として小さな声ではありますが意見をお伝えします。 私は可能であれば自校調理方式を優先して検討していただきたいと考えています。 ただ「学校で作るから」ということだけではありません。 小学校では自校調理の給食が実施されており、子どもたちは毎日の給食を楽しみにしています。 できたての温かい料理、作っている人の姿が見える環境、そして美味しさは、子どもたちにとって大きな楽しみであり、心と体の両方を満たす貴重な体験です。 そのため、中学校でも同様に自校調理方式を取り入れることができれば、小学校での給食の良い体験をそのまま継続することができ子どもたちに安心感や楽しみを提供できると思います。 反対に、給食センター方式になると、配送や調理の都合で温かさや味の質、作り手の存在感が損なわれる可能性があり、子どもたちにとって貴重な体験が途切れてしまう懸念があります。 もちろん、保護者としては「お弁当を作らなくてよくなること」は非常に助かる点です。 そのうえで、給食センター方式に移行する場合でも、できる限り「できたてに近い温度で届ける工夫」「味の質を維持する工夫」など、子どもたちが楽しめる給食になるようご配慮いただければ幸いです。 給食は、子どもたちの学校生活における大切な学びの時間であり、毎日の楽しみです。 どうか今後も、子どもたちが安心して、笑顔で食べられる給食であってほしいと願っています。	本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 なお、昨今の給食センターは、保温性能の高い食缶が使用されており、学校到着時でも十分に「温かい状態」が維持され、自校方式と遜色なく、出来立てに近い温度で給食が提供されます。給食センター方式は、建設地の確保といった課題はあるものの、その課題が解消できれば、自校調理方式と同等の温かい給食の提供を全校同時に開始することが可能です。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
6	中学校全員喫食に賛成です！！ 子供が小学生1人(娘)と、幼稚園2人(息子)がいます。 それぞれ2学年差の3人の為、中学生になる頃には、2人行かせる時期があります。食べ盛りの2人分のお弁当はとても大変です。(特に、下2人は男の子なので) また、小学生の娘は小学校の給食はとても美味しいと言っております。 幼稚園の時は、宅配弁当だったので、やはりそれに比べると、小学校の給食は美味しいようです。 なので、子供達が中学生になるまでに、全員喫食になっていると、我が家としてはたいへん助かります。 よろしくお願いします。	小学校のように温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
7	給食センターによる給食全員喫食実施を希望します。 なるべく早い実施が良いです。	可能な限り早期に具体化できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。

8	いろいろな事情がある現代なので、小学校のように給食が当たり前になるとみんながある程度栄養が取れるので安心かと思う。 配達の給食でもご飯だけお代わり出来るようなシステムになると、足りない子にはいいのかと感じる。ふりかけなどは持参してもいいとかだとお代わりもしやすいのではないかな。 来年度から入学なので整えていただけてありがたいです。 いろいろなことを検討してくださりありがとうございます。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
9	中学校に通う皆んな、親や家庭環境に関わらず喫食出来るのが大切です。 何故なら充実した実りある教育環境の実現により、将来に希望を持ち翔ける環境を提供出来ると考えます	家庭環境に関わらず生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
10	成長期の大事な時期の中学生には、給食が必要だと感じています。 賛成です。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
11	お弁当を手作りで持たせたいです。	家庭での手作り弁当にも大切な側面がありますが、近年、家庭環境に関わらず生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整える必要性が高まっています。 そのような環境を整えることは教育委員会の重要な役割であり、原則として全員が同じ給食を喫食する方式での実施を想定しております。 今後も、保護者の皆様の多様な御意見を受け止めながら、子どもたちにとって望ましい給食のあり方について検討を進めてまいります。
12	給食センター建設には費用も時間もかかるが、子どもたちには温かく美味しい給食を食べてもらいたいののでぜひ進めていただきたいと思います。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
13	全員給食は反対 現在の状態を維持で良いと思う。	現在の選択式の給食にも多くの利点があり、一定の評価は得ているところですが、生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。 今後も、保護者の皆様の多様な御意見を受け止めながら、子どもたちにとって望ましい給食のあり方について検討を進めてまいります。
14	中学校の学区域内にある小学校で中学校の給食も準備し、それを中学校に輸送することはできないのでしょうか？	親子方式（小学校の給食室の活用）は法令上の制約があり、導入には相応の時間を要し、現時点では対応が難しい状況です。

15	まだ、子供が中学生ではないので現状を知らなく正直驚きました。 食育という言葉があるくらい食事は大切で育ち盛りなのに冷たいお弁当を食べていたなんて。 学校給食は、温かくて美味しくて家とは違う味でみんなで同じものを食べるから、普段は嫌いで食べないものまで食べたり新しい味の出会いがありそれがいいんじゃないでしょうか。 本当は、各学校で作っていただきたいところですが経費や場所などいろいろあるでしょうから給食センターで作って、温かくて美味しくてボリュームと栄養バランスのとれた多彩なメニューのご飯を食べていただきたいです。	現在のデリバリー方式(弁当)は、学校給食衛生管理基準に基づき冷却が必要となり、温かいおかずの提供はできません。 栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
16	いつもお世話になっております。 いま保育園児と高校生を育てる子育て世代です。 近隣の大和市を参考に、座間市内の中学校に給食を導入して欲しい。 予算や敷地の兼ね合いはあるが、できたら学校に給食室を併設されたいが難しいと思うので、大和市バージョンをお願いしたい。 または、近隣の学校の中間地点に給食センターを作り、配送できないだろうか。 共働き世帯が7割を超えており、また、給食にすることでここで栄養を確保できる世帯もあるのではないだろうか。 予算が1番の問題だと思いますが、子育てに優しい座間市になることで若い世代の定着になるかと思います。近隣の子育て施策が羨ましいと思います。 どうぞよろしくお願いします。	近隣自治体における給食実施状況なども参考にしながら、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
17	小学校と同じで、給食センターで作る給食が栄養、衛生面、労力など考えても好ましいと思います。	中学校給食の実施方式に関する御提言として受け止めさせていただきます。 なお、本市の小学校は自校調理方式の給食を実施しています。
18	神奈川県に住んで、中学校は給食がないと知って驚きました。中学校でも給食があるのが当たり前になるよう強く願います。 座間市の人口は今は最大です。つまり、税収入も恐らく最大です。今、実行すべきです。 給食センターの設立なら、実現できそうではないですか？市内を探せば用地はいくらでもあると感じます。 選挙でも、中学校給食を進めてくださる方に投票しています。 ぜひ、お願いします。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
19	ぜひ全員喫食にして欲しい	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
20	給食を注文したことが1年生の時にあるが、ご飯は温かいもののおかずは冷凍食品をそのまま出したようなもので食べる気がしないとのことで辞めました。 小学校のように学校に併設された給食室の温かい出来立ての味を希望します。 また会社にあるような冷凍食品を業者が搬入して、好きなものを選んで買い、温めて食べる方式でも良いと思いました。食品ロスも避けられそうだと思います。給食室をわざわざ作らなくても良いのでコストも抑えられます。 共働きで毎日のお弁当を持たせるのは負担です。 また昼食の時間も短いようで、ゆっくりと食事の時間を取れていないようなので5分から10分程度でも伸ばしていただきたいです。	デリバリー方式(弁当)は、学校給食衛生管理基準に基づき冷却が必要となり、温かいおかずの提供はできません。 本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 学校の時程の見直しなど運用方法を調整し、教職員の理解を得ながら、生徒が安心して給食を喫食できる環境を整備し、持続可能で安定的な給食提供の実現を目指します。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。

21	現在息子が相模中学校に通っています。 入学当初は中学校の給食を利用していましたが、 「美味しくない、ごはんの量が少ない、ごはん合うおかずも少ない、揚げ物が多い、冷たい」と息子が毎日不満を口にしていたため、お弁当に変えました。 温かくて美味しく栄養バランスが良ければまた給食は利用したいと思います。	デリバリー方式(弁当)は、学校給食衛生管理基準に基づき冷却が必要となり、温かいおかずの提供はできません。 栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
22	子供の成長と、共働きの負担を考慮して、全員給食への移行を早期に切に希望します。 女子ですが、ランチボックス型は量が調節できず、希望していません。 子供毎に食事量が違いますので、フードロスの観点からも給食式を希望します。 また、皆で盛り分けるなど、配食などからの学びもあると思います。 暖かいご飯を届けられる点、食育の教育的視点からも構内で調理していただけたら嬉しいです。 ご検討よろしく申し上げます。	本素案でも触れていますが、食缶方式（自校調理方式と給食センター方式）は残食率が低くなる傾向があります。 また、配膳を通じ、温かさや盛り付けを体験することで、食への関心や感謝の心を育む機会が生まれるなど、食育にとって望ましい方式です。いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
23	座間市の中学校において、全員喫食の給食導入を強く希望します。 中学生は成長期であり、栄養バランスのとれた温かい食事を毎日とることは、健康面だけでなく学習面にも大きく良い影響があります。また、家庭の状況によって昼食の質に差が出やすい現状もあり、全員が同じように栄養を確保できる給食は教育の公平性にもつながると考えています。 さらに、食育や集団で食事をする経験は、中学生にとって大切な学びの場です。財政面や施設整備の課題もあると思いますが、段階的な導入も含め、ぜひ前向きな実施をお願いしたいです。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
24	全員喫食実施に反対します。 お弁当でも給食でも選択できる自由度があって良いと考えます。 義務教育終了後には、かなり自由な昼食の形態となります。場所も食べ物も個人の責任のもとで選択します。また、そこに教職員の負担も全くありません。 なんでも、与えることがかえって3年後の義務教育終了後に子供たちに不自由さを与える結果となると思います。 したがって、中学校における学校給食はある程度の選択の幅を持たせることが大切だとかんがえます。 また、学級担任が全員喫食、つまり一斉の昼食に関しての指導の負担を減らすためにも、足枷のある給食のあり方には反対します。	現在の選択式の給食にも多くの利点があり、一定の評価は得ているところですが、生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。 なお、全員喫食の実現には学校の協力が不可欠です。学校の時程の見直しなど運用方法を調整し、教職員の理解を十分に得ながら、生徒が安心して給食を喫食できる環境を整備し、持続可能で安定的な給食提供の実現を目指します。
25	給食費を無料にしてやってください。弁当を配るのはやめ、学校で作って欲しいです。	本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。

26	今の給食は冷たくて食べたくないと言っているからお弁当です。 お弁当だと栄養バランスが気になるし、作る負担もあるので、給食の方が助かります。 給食なら温かいものを食べて欲しいので、温かい給食を提供して欲しいなと思います。	デリバリー方式(弁当)は、学校給食衛生管理基準に基づき冷却が必要となり、温かいおかずの提供はできません。 栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
27	中学校給食全員喫食実現に向けて、ここまで話を進めてくださり、本当にありがたいと思っております。 子ども2人が栗原中学校に通いましたが、給食を選択していたのに、どうしてもやめたいと言われちゃってしまい、お弁当を作っていました。理由はべちゃべちゃしていて美味しくない、とのことでした。 全員喫食になれば、味については諦めると思います。 山路フードシステムさんに知り合いがいますが、頑張って作っているんだけど…と言っていました。コロナ禍前に試食会にも参加したことがありますが、とても美味しかったです。 なぜ、生徒たちにそんなに人気がないのか、理由がわかりません。それでも、給食を選択している家庭が増えているのは事実なので、ぜひ栄養バランスが考えられた給食を中学校でも実現してほしいです。 小学校の給食を多く作って、中学校にも届ける方法が取れたら、とても美味しい小学校の給食が中学校でも食べられると思います。 いくら、児童数が減っても、小学校の厨房で中学校の分も作ることはできないとは思いますが… 小学校の給食は子どもたちにとっても人気があるので、給食センターから給食を配送するより、残飯は減るだろうと思いました。	小学校のように栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 なお、親子方式（小学校の給食室の活用）は法令上の制約があり、導入には相応の時間を要し、現時点では対応が難しい状況です。
28	一読いたしました。 私個人の意見は簡単で明瞭です。 今現在の小学校の学校調理の給食より中学校の給食は劣っているということを明白にした方が良いと思います。 デリバリーが悪いと思いません。 美味しさが上回っていないだけのことです。 子供たちのことを第一に考えて喫食を進めてください。 このままの素案ではセンターになる前提で話しを進めているように感じました。 喫食の意味は「食事をする事、特に満足感を持って楽しく食事をする事」と言う意味だそうです。 センターを進める前提の素案内容に憤りを感じました。 以上です。	素案の内容が給食センター方式を前提としているように受け取られたとの御指摘につきましては、各方式の特徴や課題をより分かりやすく表記するなど、今後の本方針策定の過程において参考とさせていただきます。 引き続き、子どもたちにとって望ましい給食の在り方を最優先に考えながら、全員喫食の検討を進めてまいります。
29	ぜひ実施してもらいたい。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。

30	座間市学校再編計画に続き、今回も中学校給食全員喫食実地方針のパブリックコメント募集の周知いただきありがとうございます。今後の座間市にとって良い方向へ進むためのことは、自治体のみの考えだけでなく、市民からの希望、意見をスピード感をもって反映、実行していただけると助かります。 中学校給食全員喫食については私は賛同しています。 理由は何度か小学校の給食試食会に参加させていただいていますが、本当に子どもたちのために栄養バランスよく美味しい給食を作っているからです。 現在共働きのご家庭が多い世の中で、なかなか家庭では毎日違うメニューを作ることが現状難しい家庭がほとんどだと思います。子どもたちも毎日給食献立表を見て明日神メニューだー！楽しみー！と学校に行くモチベーションもあげていただいています。郷土料理のざまりん給食、ランチルーム給食でおにぎりを握らせていただいたり、司書さんと給食室がコラボしたBOOKメニュー等子どもたちが楽しめる工夫をしていただき感謝しています。 中学校になると勉強部活メインで給食の時間を多くとることは難しいと思いますが、今後もしできる範囲で地産地消いただき座間市産の新鮮で美味しい農作物をたくさんのお子どもたちに食べていただきたいです。 色々な世代の方、お子さまがいない家庭のかた、お子さまがたくさんいらっしゃる家庭、予算など色々な事とのバランスが難しいと思いますが、給食無償化も検討していただけるとすべての子どもたちに栄養バランスのとれたあたたかい給食を食べていただくことができるのかなと思います。 ただ、何事も無償化については本当に色々な考えがありますし、無償化にしたことにより次世代の方につけとしまわしていくことにならないよう市政については本当に慎重にならなければならないこともあると思います。 本当に難しく大変なことだと思いますが、座間市には優秀な方がたくさんいらっしゃると思うので座間市、日本、世界の老若男女にとって多くの方が安心安全に過ごせるよう何事も進めていただけると助かります。 最近ようやく無知の知の意味が少しずつ分かり始めてきました。 分からないことばかりなので私の意見がチグハグでしたら申し訳ございません。 文章が長くなりましたが、次世代を担う子どもたちに恥ずかしくない大人の方が今後どんどん増えて、子どもたちが尊敬して後に関わりたくなるような素敵な背中を見せていただけると助かります。 私も色々なことで七転び八起きしながら色々な方に厳しくご指導いただいたり、優しいヒントをいただいたり親になってからも老若男女の方に育てていただけてます。 コミスク等で学校に行くと決めつけ、思い込みがない子どもたちから学ぶことが本当にたくさんあります。 今後も市政に市民の意見が自治体の中で煮詰まっている考えの突破口になることもあると思うので、パブリックコメント以外にも色々方法で敷衍、垣根ができる限りないよう間口を広げていただけると助かります。 私も体力、勇気が足りなくてなかなか行動できないこともあります。私もですが誰でも明日生きている保障はないですし、人が自分の為に使ってくれた時間は命だと思っているので、色々な方にもそのことを認識理解していただき、色々なことを後悔ないように生きていってほしいと思っています。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるように引き続き検討を進めてまいります。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
----	--	---

31	共働きなので、全員喫食になれば負担が減るので大変助かります。 また、家庭の収入等で弁当に格差があるとイジメの原因になる可能性もあると考えます。 育ち盛りの世代に栄養バランスが考えられた食事が一食でもあると、子供たちにも良いと思います。	家庭環境に関わらず生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
32	温かい給食を小学校通学時と同じく楽しみながら味わいたい、我が家では以前から児童本人による率直な意見が上がっています。 自校調理方式が理想的です。 俯瞰すると、現実的な側面例えば将来的児童数の推移・確保可能性からみると課題も感じます。 規模の経済観点（経費）から、給食センター方式ならば、連携フローの質や配送の品質に拘ることで、自校調理方式に近い暖かさや美味しさを届けられると想像します。 今の食事は30年後の身体をつくる＝セルフメディケーション 将来、座間の未来を担うであろう可能性ある存在に、地域（市内）が一体となり、プロの栄養バランスと品質を享受可能ならば、強くそれを望みます。	「温かい給食を小学校と同じように楽しみたい」という児童の率直な声を重く受け止めています。 本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 なお、給食センター方式は建設地の確保といった課題はあるものの、その課題が解消できれば、自校調理方式と同等の温かい給食の提供を全校同時に開始することが可能です。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
33	「喫食」とは何か？不明なので～	「喫食」とは、「食事を楽しみながら美味しく食べること」を指します。生徒が学校生活の中で等しく栄養バランスのとれた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会として重要な役割であると考えています。
34	中学生、できれば温かいご飯で栄養のあるものを食べてほしいとも思う。反面、食べ盛りの男の子は足りなくならないか心配もある。 捕食持参は許可して欲しい	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるように引き続き検討を進めてまいります。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
35	全員に、給食を提供して欲しい	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。

36	私は給食は今のままのお弁当か給食の選択制、もしくは自校式給食が良いです。デリバリー形式ですと、冷めていたり大量生産のため、安い食材や添加物など食の安全安心が疑われます。海老名市は小学校からデリバリー形式の給食で、子どもたちから『おいしくない』との声があり、中学生保護者からも、お弁当と給食の選択制が良かったとの声がありました。 座間市は小学校では自校式給食、中学校では選択制とのことで、他の市にはない特徴が魅力的だと思います。 自校式が難しくても、今現在、お弁当か給食を選ぶ人数の方が一定数いるため、現存のままでいいと思います。また、変えるならば自校式が良いと先程回答しましたが、そちらの方が温かな給食で、子どもたちの食べ残しも少なく、目に見える調理のため保護者からしたら安心です。 6年間、自校式給食を食べた子どもたちは、そちらの味に慣れていると思います。予算がかかるかもしれませんが、子どもたちのことを考えると自校式、もしくは現存の選択制が良いです。食事で身体が作られるため、安心安全、温かい食事を望みます。よろしくお願いします。	現在の選択式の給食にも多くの利点があり、一定の評価は得ているところですが、生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。なお、食の安全安心は、給食を提供するうえで特に大切な要素ですので、事業実施の際に参考とさせていただきます。
37	ずっと、小学校と同じ食缶給食を望んできました。市長に手紙を書いたり、住民説明会で質問したり、子ども子育て会議で意見を出したり、、、やっと、このような方針を示してくださり、ますばありがとうございます。上の娘は中学2年生なので、間に合わないかもしれませんが、下の娘は小4なので希望がもてました。意見は下記の通りです。 ■給食センター建設 大賛成です。 時間がかかるかと思いますが、働いている親にとって、1日1日を争う話なので、1日でも早く建設が終わり、みんなに温かい給食を提供してください。 ■小学校の給食室活用 小学校の人数が減っているので、中学校の分も賅ったり、分担して出来ないものかと考えます。 例えば私の住む地域だと、ひばり小、旭小、東原小が東中を取り囲むようにあります。東中の1年分をひば小、2年分を旭小、3年分を東原など分けるなど。 現段階だと、各小学校献立が違うので、中学校の各学年の給食が変わってしまいますが、それも面白いと思います。 給食室のサイズの的にも調理員さんの数的にも懸念事項あると思いますが、意見として出させていただきました。 ■全員デリバリー弁当方式 今の宅配弁当の評判が本当に悪いので、全員でそれを頼まなくてはいけなくなるのは、クレームが出てしまうと思います。 業者さんを悪く言うつもりは全くありません。試食会も美味しかったので、我が家は活用させていただいておりますが、娘曰く、メインはおいしいけど、副菜がどうしてもおいしくなくて辛いそうです。 周りの友達も残してしまっているそうです。中にはまるまる残して捨てていたり、それを親に内緒にしてる子もいるようです。 以上です。 座間の保育園、小学校の給食が本当に美味しくて素晴らしいので、中学校も1日でも早く足並みが揃うよう切に願っております。 沢山考えてくださり、ありがとうございます。	中学校給食の実施方式に関する御提言として受け止めさせていただきます。 可能な限り早期に温かい給食を提供できるよう検討を進めてまいります。 なお、親子方式（小学校の給食室の活用）は法令上の制約があり、導入には相応の時間を要し、現時点では対応が難しい状況です。
38	現代では共働きの家庭が多く、なかなか昼食まで準備することが難しいように思います。 私は2年前に埼玉県南部から来たのですが、やはり給食でした。 栄養バランスの整った温かいものを、みんなと同じようにいただけるというのは、成長期の子供たちにとっても利のあることと思います。 是非推進していただきますよう、お願いいたします。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。

39	自校式の給食導入を希望します。	本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考えられる一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 なお、給食センター方式は建設地の確保といった課題はあるものの、その課題が解消できれば、自校調理方式と同等の温かい給食を全校同時に届けることが可能です。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
40	子供が美味しくないと言っているのでおいしさと温かさと量は調整できるような小学校と同じスタイルで給食センターから提供していただけたら嬉しいです。 普通盛りにして頂き、足りない子は引き続きお米などの持ち込みも可能にして頂きたいです。 朝ごはん食べる時間がないのは家庭の責任かもしれませんが、起きれないので給食でしっかり栄養取って頂きたいです。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
41	全員喫食実施に反対です。 今まで通り給食か弁当持参選択式の方が、個人の体に合った量を食べられますし、我が子でいえば偏食がちで食べるスピードがとても遅いので小学校でも給食がほとんど食べられない日もありました。現在は部活も朝と午後ハードな練習があり、エネルギーが足りなくなることが予想できます。 特に夏場はそれにより熱中症にもかかりやすいとも思いますし、成長期に十分な量を食べられないこともとても危険だと思います。	食のペースや偏食の状況、部活動による体力消耗、夏場の熱中症リスクなど、個々の生徒の体調や食習慣に応じた配慮が必要であることは、十分認識しております。 中学校給食の全員喫食は、すべての生徒が日々の学校生活に必要な栄養を確保できる環境を整えることを目的に検討しているものです。 事業実施の際は、献立の工夫や時間配分の調整などの検討を行い、個々の生徒の健康と成長に配慮してまいります。

42	我が家では幼稚園はオール弁当の園を選んで入園しました。理由は子どものうちに親の愛情のある食事を食べる機会がたくさん持つことができること、また安心なものを親が選んで食べさせてあげられること、毎日お弁当を作るのは手間ではありますが子育て中だから出来る苦労？であることからです。 現代は添加物も農薬も大変多く使われ、人工甘味料も多様されておりそれらを避けることの方が難しい世の中です。日々の買い物はなるべく身体に悪いものが少ないものを購入するようにしています。 （自然食品の店に行って農薬使用料半分とかでも10回以上散布しているなんてことはザラにあり驚きます） なぜ食にこだわるか。 食事は身体だけでなく精神も作るからです。え？食が精神も変えるの？と私も最初は思いましたが、実際に食事を見直ただけでも多動などが減ったという報告も聞きました。規律性障害のお子さんも植物油の見直しや甘味料をやめるなどして改善した話しも聞きました。また、日本人が古来より食しているお米を食べることが日本人らしい穏やかな精神を作ることとも学びました。牛乳は戦後GHQや乳飲料メーカーによって給食に組み込まれたことも学びました。欧米では牛乳を飲んでいる人の方が骨粗鬆症の人が多いことはすでに知られているそうです。 私は特に小児科医の真弓定男先生の牛乳や母子手帳のお話を聞いてからは子どもに牛乳をすすんで飲ませることはしなくなりました。小学校の給食での牛乳は飲まなくて良いならば飲ませたくはなかったですが、騒ぎたてるのも学校にご迷惑になると控えていました。また小学校の給食メニューをみても小麦のおかず+パン+牛乳 みたいな小麦や牛乳が重なる日も多く見られました。小麦がリーキーガットという症状を生みだす事もあることも学びましたし、輸入小麦の残留農薬の高さからも我が家では米食中心にしています。 ようやく中学生になり毎日弁当を持たせていますが、牛乳も飲ませなくて済みましたし、なるべく安全な食材と調味料で作った弁当を持たせてあげられる事に安堵しているところです。 一方で働いているお母さんが増えて弁当作りが負担なのもわかりますので弁当オンリーは公立では不可能だと思います。10年以上前ですが、上の子が中学校に通っていた頃はお弁当屋さんと提携していて？当日の朝に弁当を申し込みすることができました。（確か一食400円）これは寝坊したとか 母親の体調が悪く弁当が作れない場合には当日の朝の申し込みで助かった記憶があります。 （私は上の子達が中学生の時に妊娠出産があったのでとても助かりました） 事前申し込みにせよ当日申し込みも可能にせよ今のような弁当持参と給食購入のミックスのままではいけないのでしょうか？添付の資料をみると現在の状況では弁当のお子さんも半分程度いるわけですね？わざわざ施設設置にお金をかけて給食オンリーにする必要を感じません。また、給食オンリーにした場合には給食無償化だの給食費をなるべく安くするだのと言った大人目線の理由で食材の内容の低下も心配します。食事は大事です。子どもたちは宝です。健康で心も体も健やかに育つ給食であるべきかと考えます。 別件になりますが、現在ハラル食対応の給食について各地で問題が起きています。ハラル食に合わせて日本人の子が給食メニューを変えなければいけなかったりするのは座間市にやって欲しくはありません。排外的に考えている訳ではないのですが、今 モスク建設が藤沢で行われるようで反対運動が起きています。モスクが出来ればハラル食のお子さんが増える。すでにモスクが出来た地域の近住民の方からは夜の騒音、勝手な駐車や駐輪、窃盗、性犯罪、それに伴う日本人住民の転居、治安悪化などに伴う土地の価格低下、、、と気の毒な悲痛な声が上がっています。座間市がハラル食給食を取り入れたりすればハラル食給食があるならば住みやすい！と評判になりそのうちモスクも建設されてしまうかもしれません、、、性犯罪?犯罪についてとても心配します。 座間市役所?教育委員会の皆さんが、座間市民?子ども達のために誠実に業務を行ってくださってる事にいつも感謝しています。子ども達には安心して暮らせる座間市、また健やかな心身を私たち大人が手渡して行きたいと思います。 長々と失礼致しました。 ありがとうございました。	家庭での手作り弁当にも大切な側面があります。しかし、中学校における全員喫食は、すべての生徒が日々の学校生活に必要な栄養を確保できる環境を整えることを目的に検討しているものです。現在の選択式の給食にも多くの利点があり、一定の評価は得ているところですが、生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。食の大切さや心身ともに健やかに育つ給食の必要性など、いただいた御意見を踏まえ、事業実施の際の参考とさせていただきます。
----	--	---

43	給食を希望します。(センター式か自校式)	本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 なお、給食センター方式は建設地の確保といった課題はあるものの、その課題が解消できれば、自校調理方式と同等の温かい給食の提供を全校同時に開始することが可能です。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
44	給食を希望します。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
45	今の座間市内の中学で利用している仕出し弁当屋さんは異物混入問題もあると聞かし、なにより美味しくないそう。 競合が無いからヒドイ状態。 ちゃんと給食センターを作るか、他の弁当屋と選べるようにするなどしてほしい。 公立高校も同様です！ 学食やパンやおにぎりや惣菜など、しっかり食べれる環境は絶対必要です。 共働きが主流の現代において、毎日子供にお弁当を持たせるのが大変なご家庭もあります。 いつの世も弱者が虐げられます。勉強の前に衣食住の「食」ができていない…なんて事にならないよう、サポート体制は万全にしていきたいです。 座間市だけで難しいようなら近隣の市と連携することも考えてはどうか？ 最近、座間市は財政難で子供のための施設や子供に関わる補助金が次々と打ち切られています。 声を上げるお年寄りばかりに目がいきがちですが、これから先の座間市を担う若者にこそ「子育てするなら座間に戻りたい！」って思ってもらえる街づくりをしていただきたいです。	食は子どもの健やかな成長に欠かせないものです。いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
46	小学校のような給食センターを設置して、皆で運んで皆で食べる方式がいいかなと思います。 家庭だと好き嫌いが多いのですが、給食だと頑張っているいろんなものを食べてくれるので好き嫌いの克服にも繋がるかなと思います。	小学校と同様に、給食を皆で配膳・喫食する方式は、栄養の確保に加え、食材への挑戦や食習慣の形成に資することが期待されることから、本方針策定の際に参考とさせていただきます。 なお、本市の小学校は自校調理方式の給食を実施しています。
47	中学校の時期は、成長期にとってもとても大切なときなので、早期に問題解決に向け動いて頂きたいです。 地域の子どもたちは、いまの中学校の弁当は冷たくて美味しくないという意見を多く聞くので、給食センターなりを早期に進めてもらいたいと思います。	成長期における十分な栄養の確保は、重要な課題と認識しておりますので、可能な限り早期に検討を進めてまいります。

48	給食全員喫食には賛成です。ぜひ進めていただきたいです。 給食センターを作る場所については、子どもたちの不利益にならない場所だとでありがたいなと思います。、	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
49	ぜひ全員喫食にして欲しい。 また、現在採用されている選択弁当は味が美味しくないと在校生から聞いたので、給食センターを作る・給食室を作る・業者に依頼するといういずれにせよ、どこかの業者に委託するのではなく、美味しいという実績のある現状の小学校の給食室のノウハウをぜひ継続して欲しいです。 小学校の給食室レベルの給食が食べられるのは、子供達も安心感があると思います。 配達されるものに関しては食中毒対策などきちんと考慮して欲しいです。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 小学校給食のノウハウの活用や衛生管理対策につきましては、事業実施の際に参考とさせていただきます。
50	中学も小学校同様、給食での提供を希望します。大和市、綾瀬市、海老名市、厚木市、近隣の中学校は給食での提供だと聞いています。 いつも思いますが、座間市は子育て支援が本当に薄く、引っ越してきたことを後悔しています。 他市に住んでいる友人と話をすると座間市は本当にいいところがないな感じます。 何年も前から市民から座間市の中学でも給食をと声があると思います。 早く取り掛かって実現してほしいです。 子供にとっても親にとっても通いやすい学校を作ってほしいです。 給食あるなしはとても大事な話だと思います。	近隣自治体における給食実施状況なども参考にしながら、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
51	食事は心も育むので、作っている匂いがしてくることは大切に思います。 その意味では自校給食が望ましいと思います。 現在、選択的デリバリーのメニューは美味しそうで、今後も栄養士による多彩なメニューを期待してます。 学校建て替えに合わせて行くと自校式が難しくなるのか？ センター方式でも仕方ないのかとも思います。 運営は民間業者でなく、公営を希望します。（綾瀬市のメニュー、量がひどいので） また、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく提供されることを望んでいます。 給食配膳、下膳も含めて給食時間は人間らしい時間の確保をお願いしたいです	本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 提供温度や給食時間の確保など、いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
52	地元業者を参加させて頂きたいです。	いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
53	座間市在住、座間市勤務しています。 先日開かれました座間市学校再編計画（骨子案）説明会へも参加させていただきました。 骨子案、素案ともに座間市さんの出された考えと少々異なる提案になるかと思いますが、意見させてください。 まず、給食センター建設可能地域の内容を読ませていただいて建設候補地である東原小学校の敷地ですが、座間市学校再編計画では東原小学校は今後児童数が一時的に望ましい学校規模数を外れるとなっていますが、近年宅地に新しい住宅が建ち続けていて減少するとは考えにくいと住民目線で感じております。 そこで給食センターを東原小学校の一部を活用となると必要となってくる広さの確保は難しいのではないかと考えます。東原小学校と隣接するサンホープさんを以前市営住宅があった敷地でいまは空き地となっている場所へ移設するなりして使用できるエリアを拡大していく必要があるのではないのでしょうか。 または相模野小学校、相模が丘小学校、相模中学校エリアですが建て替えが必要な相模野小学校を新しい相模中学校として建て替え、相模中学校の敷地に給食センターを設置し、相模野小学校と隣接する相模が丘小学校と相武台東小学校は今後児童数が減少しないものの、相模野小学校の生徒をエリア編成しても大規模小学校には該当しない規模数で割当できるのではないかと考えます。 また給食センターを民間委託してしまうと味が安定しなかったり、価格優先となり、本来の目的を達成できない給食提供になってしまうのではないかとさまざまな不安が拭えないので、ぜひ直営で給食センターを建設運営してほしいです。 座間の小学校給食で調理員さんを経験して中学校給食センターへ移行の際にもぜひ経験された調理員さんでお願いしたいです。 他市同様、国家資格の調理師免許を取得された基礎知識のある調理員さんが心を込めて調理してくれた温かい給食全員喫食、実現よろしく願います。	いただいた御意見は、今後、本素案を具現化する際に参考とさせていただきます。

54	給食センター方式の採用に賛成します。 ・栄養によって身体の発達だけでなく人間性の成長にも大きな影響を与えます。栄養状態が悪い子どもは残念ながら人間関係の形成や素行にも問題があるようです。将来の座間市を支える子どもたちにバランスの良い食事を提供してください。 ・若い夫婦では、中学校給食の有無が引越し先を選ぶ決め手になる方もいます。 ・食材の地産地消で地域の振興に繋がられます。千葉県いすみ市、長野県松川町、東京都武蔵野市の事例を参考にしていただけたらと思います（DVD『希望の給食 一食と農がつむぐ自治と民主主義』より）。 ・中学校での給食の運営には、特に教員への負担が大きくなると考えられます。「給食サポート委員」のような人材を募って各クラスに2人くらい配置できると配膳や運搬、アレルギーの対応などもスムーズにできると思います。担任の先生にはその間少しでも余裕を持ってもらいたいです。 ・運営費や事業費がかさむので、受益者の負担も多くてもいいと思います。 ・非常に大切な事業ですので、なるべく早期に実施するべきであると考えます。 アンケートの実施から素案の作成まで本当に多くのご苦労があったかと思います。ありがとうございます。	地産地消による地域振興など、いただいた様々な御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
55	私が小学生の時に住んでいた二宮町では給食センターから給食が運ばれてきて、いつも美味しくバランスも良く暖かいご飯が食べれたのでほとんど毎日完食していました。中学まで給食が出るのが当たり前だと思っていましたが座間市ではお弁当だと知り、共働きの世帯も多い中毎日作るのは大変だと思いました。子育てしやすい街に住みたい人が多いので中学校が給食であることも選ばれるポイントになると思います。	栄養バランスの取れた温かい給食を提供できるよう引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
56	義務教育中は、無償で全員給食を提供するべきだと思う。子供たちの食事で費用など気にするようじゃ、いい市にはなれないと思う。道路整備なんかより、食事。未来ある子供たちから食の楽しみを奪ってはいけない。 給食の時間は少なくとも30分ゆっくり噛んで食べさせるべきだと思う。遊ぶ時間が減ってもいいから給食の時間をのばすべき。 そして、量は本当に少なすぎると思う。小中学一貫してすくなすぎる。もっとたくさん食べさせてあげて欲しい。	生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割ですので、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。 給食時間の確保など、いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
57	自校調理方式、給食センター方式が保護者・生徒共に望ましいと思いました。アレルギーや宗教上の理由などでの食べ物の制限などに対応可能なのもいいと思います。給食費の問題などありますが、是非とも保護者の負担を減らし、子供達に栄養があり温かく美味しい食事が提供できるようになってくれたらと願っております。	中学校給食全員喫食の実施方式に関する御提言として受け止め、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。その他いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。

58	お世話になっております。 座間市の中学校給食について、意見をお伝えしたくご連絡いたしました。 現在、座間市では中学校給食が実施されていないと伺っておりますが、給食は「教育」だけでなく「福祉」の観点からも、とても重要な役割を持っていると感じています。 家庭の事情に関わらず、すべての子どもが平等に温かく栄養のある食事を取れることは、子どもの健康や学習意欲にもつながりますし、保護者にとっても毎日の負担軽減や安心感につながります。 共働き家庭やひとり親世帯が増える中で、中学校給食の導入は、子どもにも保護者にも嬉しい、必要な支援だと思います。 ぜひ今後の施策検討の一つとして、中学校給食の実施について前向きにご検討いただけましたら幸いです。 貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。	生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。 いただいた御意見を参考に、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
59	選択式ではなく全員給食制度を望みます。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
60	共働き家庭も多い中、子供のお弁当を毎日用意するのは負担が大きい。 また適当なお弁当では、栄養の偏りも心配。 そのため栄養士の方に栄養計算された給食を中学生にも望みます。	栄養バランスの取れた給食を提供できるように、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
61	横浜市小学校現職教員です。座間市在住です。素案を読ませていただきました。センター式の給食（食管を運んできて教室で配膳する小学校と同じ）に賛成です。理由は3点。①保護者のお弁当作成の負担②購入型のデリバリー弁当がおいしくない③中学校でも時間の確保ができれば導入できると考えるからです。以下詳細を書きます。①について：私自身、今年娘が生まれ、中学校に入るときにお弁当を作ることがとても負担に感じています。これは是非お願いしたいです。②今勤務している小学校が建て替え工事の時に、給食室を使えなくなりデリバリー型給食、横浜市の中学校の通称ハマ弁を1年間食べていました。正直に申し上げますと、衛生面の観点からおかずが冷たいのであまりおいしくありませんでした。児童たちも、いつも完食していた児童も残すと言うような姿もみられました。また、給食も規定の量がある物の、弁当型だと量の調整もできません。つまり、残しが発生します。食育の観点からも、残し賀無いような食管型になるとよいと思います。また配膳済みなので残しが発生した場合にもお変わりができませんでした。また、その児童が中学校に行った際にもハマ弁は注文していないとのことでした。③中学校での食缶式配膳の給食で現場で問題になるのは、時間の確保です。実際働き方改革で様々な時間を短縮したりする中で給食の時間を確保することは難しいと感じるかもしれません。ですが、中学校の生徒にもなると配膳に沢山の時間を要しないのではないのでしょうか。例えば今、私が勤務している小学校では給食の時間は準備片付け含め45分です。高学年ともなれば食べ終わりに35分ほどで終わることもできます。今の昼食の時間が何分か分かりませんが10～15分増やすことで行えるのではないのでしょうか。中学生は小学校の6年間で給食の配膳の仕方を学んでいるので、同じことが可能ではないのでしょうか。以上記述したとおり、センター式食缶でのあたたかい給食の仕組みにすることに賛成します。88億とかなりのお金がかかるかもしれませんが、温かい給食を食べられる・保護者の負担が減る、それだけで座間市の魅力にもなるのではないのでしょうか。中学校の先生型にも導入に負担がかかるかもしれませんが、給食の配膳を行うことは教育的にも、協力・思いやりの心を身につけるよい機会だと思って前向きに検討していただきたいです。世界的にも日本式の教育として給食は注目もされていますね。中学校の先生方もお弁当の負担が減りますし楽ですよ！長くなりましたが是非よろしく願いいたします。	本素案は、給食センター方式を本市における中学校給食全員喫食の実施に最も適している方式として採用することとしています。が、全員喫食には学校の協力が不可欠です。時程の見直しなど運用方法を調整し、教職員の理解を得ながら、生徒が安心して給食を喫食できる環境を整備し、持続可能で安定的な給食提供の実現を目指します。いただいた御意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。
62	年々温暖化が進み、特に夏場のお弁当持参は食中毒が心配です。早急に給食にしていっていただきたいので、まずはデリバリー式の給食を実施していただき、その間に給食センターの整備を進めていただけたらと思います。	デリバリー方式（弁当）は、最も早期に全員喫食を実現できる方式であり、仮に給食センター設置に時間を要する場合には、デリバリー方式（弁当）による全員喫食を暫定的に実施することも視野に入れ、全員喫食の検討を進めてまいります。

63	中学も、毎日給食だと助かります。 共働きであったり、大切な成長期で運動量も多いですし、栄養バランスが、とれた給食を是非お願いしたいです。	いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
64	給食は福祉の観点から推進していただきたいです。 「親が助かるから」「子どもが求めているから」よりも、心身が成長するときに十分な栄養をとれない子どもがゼロになることを重視していただきたいです。 また、安易な無償化はせずに、保護者が一定の権限を持つ形で関われるようにしていただきたいです。 そして、やはり自校式が最も美味しさや学校ごとの特色も出せるので、年間の事業費が比較的少なく済むのであれば自校式が望ましいです。	家庭環境に関わらず生徒が等しく栄養バランスの取れた温かい食事をとることができる環境を整えることは、教育委員会の重要な役割です。 本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
65	小学校では給食でとても美味しく食に興味を持ち美味しくいただきました。 中学に入り、給食は冷たいし、味もイマイチで食への意欲や関心も減りました。 そのため、温かい食事ができる学校の校内で作ってくださる給食はやはり、心の豊かさもはぐくむものだと感じております。場所の問題など様々あるとは思いますが、子ども達の未来には変え難いことだと感じます。	現在の、選択式デリバリー方式(弁当)は、学校給食衛生管理基準に基づき冷却が必要となり、温かいおかずの提供はできません。 なお、昨今の給食センターは、保温性能の高い食缶が使用されており、学校到着時でも十分に「温かい状態」が維持され、自校方式と遜色なく、出来立てに近い温度で提供されます。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。
66	誰もが安心して中学校に通えるようになるために、小学校のような自校調理方式で、給食を取り入れていただきたいと思います。 また近年共働きが増えているため、家庭での負担を少なくし、より良い中学校生活が送れるように、給食は必要不可欠だと考えます。	本素案でも触れていますが、自校調理方式は小学校でも実施しており、給食を身近に感じられるとともに、できたての温かい給食を提供でき、子どもたちや保護者にとって馴染みがある方式と考える一方、全校同時に全員喫食を実施できないなどといった課題があります。 いただいた御意見を踏まえ、引き続き全員喫食の検討を進めてまいります。

67	全員喫食を目指している事は賛成です。 デリバリー方式だと冷めていて美味しくない、との意見を児童から複数聞かれます。 それゆえ、需要はあるはずなのに、利用率が30%と低いままなのではと推測されます。 給食センターなる施設ができれば理想ですが、それが難しければ、近隣の小学校の給食室で中学校分もまとめて作るというのは難しいでしょうか。 神奈川県以外では全員喫食が当たり前なのが現状です。配膳時間の確保が課題とありますが、県外の学校の時間配分や工夫を参考にする事も可能かと思います。 是非、近いうちに全員喫食が実現できるよう願っております。	デリバリー方式(弁当)は、学校給食衛生管理基準に基づき冷却が必要となり、温かいおかずの提供はできません。さらに量の調整ができないことから残食が多い傾向があり、食育の観点でも課題があります。 なお、親子方式（小学校の給食室の活用）は法令上の制約があり、導入には相応の時間を要し、現時点では対応が難しい状況です。 学校の時程の見直しなど運用方法を調整し、教職員の理解を得ながら、生徒が安心して給食を喫食できる環境を整備し、持続可能で安定的な給食提供の実現を目指します。
----	---	---